

碧南防災ボランティア連絡会 定例会

日時 令和8年1月20日（火）10時～

1月21日（水）19時～

場所 へきなん福祉センターあいくる

1 次年度の計画

- ・罹災証明の勉強会
- ・災害関連支援制度についての勉強会
- ・防災食づくり
- ・防災キャンプ（宿泊体験）：【実施案検討】東部プラザにて。食事は日赤に炊き出し依頼するか、各自食事を持ってきてもらう形もあり。マンホールトイレを実際に使用したい（第一希望）。アリーナで宿泊か、車中泊か。夜は各自自由に楽しむ、ゴミの管理はしっかり。夜間安全のため見回りする人が必要（必要に応じて警備会社へ依頼も検討）。盛り込み過ぎると大変なため、継続的に少しずつやっていく。避難生活の大変さを経験してもらい皆で避難所運営していくこと、また、在宅避難の重要性を認識してもらいたい。いろいろな機関を巻き込んでいき、防災ボラや関係者の経験値を上げていきたい。自主防災会総会で防災ボラから周知することを検討。参加者の対象地区は限定せず広報誌で周知、30家族を定員。参加費は最低500円徴収。まずは来年度、防災ボラ、日進防災委員会、棚尾まちおこしの会、市、社協（各人の家族も参加可）などで実施していくことを検討。

2 直近の活動予定

(1) 防災ボランティア新年会

日時：1月25日（日）11：30～

場所：衣浦グランドホテル

内容：今年度の振り返り、次年度計画の検討

(2) こころ調理プログラム

日時：1月29日（木）10：30～13：00

（防災ボラ9：30集合 具材の準備）

場所：福祉センターあいくる

内容：うどん作り（材料は人参、油揚げ、しいたけ、ごぼう、ねぎ、小麦粉、塩）

防災ボラ含めて30人分用意。出汁と人参は山本会長が、醤油は角谷さんが提供。

協力者：石川良、山本、加藤、石川千、神谷幸江、角谷、杉浦卿、山田

会員名(敬称略)	20日	21日
石川 成光		
石川 千栄子	○	
石川 良春	○	
石原 健		
磯貝 清	○	
大竹 敦子		
柏谷 聖子		
加藤 政雄	○	
神谷 賢司		
神谷 幸子		
神谷 幸江	○	
斎藤 修二		
斉藤 富美枝		
榊原 靖道		
杉浦 卿子	○	
杉浦 清隆		○
杉浦 末男		
杉浦 光		○
鈴木 裕之		○
鈴木 美香	○	
角谷 早苗	○	
高橋 銀吾		
永谷 健伍		
禰亘田 悦子		
三浦 賢司		
村松 紀朗	○	
山口 多恵子		○
山田 美恵子	○	
山本 くるみ		
山本 康介	○	
山本 真澄	○	○
渡辺 明博		
石川 まさ恵		○
田川 直樹	○	
中田 有道		○
事務局	浅井	浅井

(3) 男女共同参画推進事業講演会

日時：2月1日（日）13：00～15：00

場所：碧南市役所 2階大会議室

内容：能登半島地震体験者に学ぶ避難所運営

申込者：山本、山田、角谷、杉浦卿、石川千、神谷幸江、
田川、加藤、磯貝、中田、杉浦光

(4) 消防署見学（起震車・風の体験など含む）

日時調整。土日は消防署の対応不可。

→参加者が集まらず今回は見合わせ。

(5) 大浜つながり隊 HUG

日時：2月24日（火）18：30～20：30（防災ボラ18：15集合）

場所：大浜公民館

内容：大浜つながり隊（町内会、民生委員などで構成の
地域福祉について検討する有志のメンバー）向け
の勉強会。参加人数は20名程度を予定。7人程
度1グループとして3グループ構成。

協力者（大浜つながり隊以外）：山本、杉浦光、杉浦卿、鈴木美、中田、山口

(6) こども食堂向け防災勉強会

日時：3月1日（日）10：00～

場所：福祉センターあいくるダイルーム

内容：全国こども食堂支援センター「むすびえ」が碧南市こども食堂向けに防災の
講習会を開催（講義＋グループワーク）。防災ボラには参加者として、こども
食堂との交流を主目的に5～6名は参加してほしいとの希望。

出席者：山本、石川良、加藤、山田、杉浦光

(7) 愛知県防災ボランティアコーディネーター講座（レベルアップ講座）

日時：3月15日（日）13：00～16：15（申込締切：1月28日（水））

場所：愛知県社会福祉会館 3階多目的会議室

内容：別紙のとおり。

参加希望者：山本、杉浦光、村松

3 その他

(1) 令和7年度以降の活動についての検討

- ・ 活動案：普通救命講習、FMB、ガラス飛散フィルムの貼り方講座、防災食づくり、HUG（安城防災 岡田さん作成の避難所運営ゲーム含む）

その他、これまで出ている案は下記の通り。

- ・ 子どもがリュックに自分の好きなおもちゃやお菓子、などを詰める体験。
- ・ 植木鉢を利用した調理（タンドリーチキン）
- ・ Youtubeでの情報発信（活動に参加できない人も興味を持ってもらえる）。
- ・ ロケットストーブの訓練について（水源公園等）。
- ・ VR機器の活用について。市の防災フェスタで使用していたVRゴーグルを借り

- て体験できないか。
- ・ 寄付金や助成金等の活用について、勉強できる機会を設けていきたい。
 - ・ ホームセンターやスーパーなど、防災用品を扱っている店舗での実演。
 - ・ 要配慮者の観点での支援検討。
 - ・ 災害ボランティアセンターの運営等。
 - ・ ボランティアの立場で、市や社協に改善の要望を伝えていきたい。
 - ・ 他、現実的に災害が起きた時に、市民が生き残っていくための術を学ぶ機会が必要。自己完結型の防災の知識を学ぶ。
 - ・ 要支援者（高齢者、障害者、外国人等）のみを対象とした避難訓練。

【次回の打合せ】

日時：令和8年 2月17日（火） 10：00～ 会議室2
令和8年 2月18日（水） 19：00～（夜間開催） 会議室3
内容：

【次々回の打合せ】

日時：令和8年 3月17日（火） 10：00～ 会議室2
令和8年 3月18日（水） 19：00～（夜間開催） 会議室3
内容：